

KEY TOPIC

当社サイトへの問い合わせが昨対368%に爆増 新規・再取引ともに増加中!

いよいよアフターコロナ全開となりました。数年ぶりに通常運営となるイベントが多く開催され、インバウンドも含め街には人が溢れ始めました。あわせて当社への情報誌掲載に関するお問い合わせも増加しています。経済の写し絵と例えられることが多い広告。今、情報誌は、地元から多くのオファーを受けています。

各業種で景気が回復 日経平均はバブル期以来の高値へ

経済産業省が2023年5月に発表したデータによると、アフターコロナで鉄道旅客はコロナ前の2019年12月と比較して90%にまで回復し、航空旅客は同じく115%程度まで回復しているといえます。

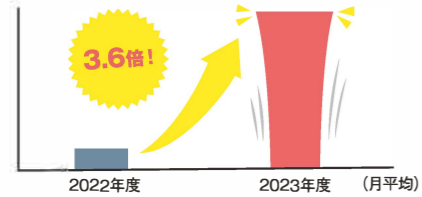
中広はコロナ禍で一部の「地域みっちゃく生活情報誌」を休刊するなど、まさに広告媒体として景気を写し絵となっていました。

アフターコロナに入り、情報誌への掲載に関する問い合わせ数が顕著に増加しています。

当社のウェブサイトや見積サイトへの問い合わせ件数は、昨年の3.6倍以上となり、一部の情報誌では満稿により、次月号への掲載をお願いするケースも出ています。

これは、経済産業省が示す景気回復をも上回る勢いです。

当社ウェブサイト・見積サイトへの問い合わせ件数



経済回復推移を上回る 問い合わせ件数の上昇

問い合わせ件数上昇の要因は2点考えられます。ひとつは、クライアントの拠点周辺での広告意欲の上昇です。地元で人出が増える今、わざわざ遠方から人を集めなくても、自身の店舗の認知度を高めやすい地元での告知に目を向けるクライアントが増えています。

また、もともと広告出稿していたクライアントからのオファーも多く、再開が多く見られます。過去の掲載で納得の反響が出ていた

からこそ、再びお付き合いがスタート。実績を評価いただいたお声かけは、大変、うれしいものです。

サイトをリニューアルし 問い合わせ増へ繋げる

ふたつ目は、コロナ禍にリニューアルした当社のウェブサイトです。今回のリニューアルでは、問い合わせ受け入れ体制の調整に力を入れました。コロナ禍で社会はDX化が進み、顧客の情報収集スピードは各段に上がりました。我々、情報を提供する側は、そのスピードに備える必要があります。当社では、ウェブサイトに加えて情報誌の掲載料金を検索したり見積PDFを発行できるサイト「C-Price」を運営。概要はネット上で入手し、詳細は電話や実際の訪問で打ち合わせができます。この使い分けが、好評を得ています。

こういった傾向は当社の広告申込だけでなく、飲食店を検索する場合も同じです。情報誌を読んで店の情報を得て、「より知りたい!」という気持ちを生み出す。そのうえでウェブサイト上で詳細情報やお得サービスを提供していくことが有効です。

当社は窓口となる情報誌と、詳細情報や追加発信できるアプリや、ウェブサイト制作・運用ノウハウを持ち合わせています。



日々全国の活躍を順次投稿できるコーナーやサステナビリティに関するページを新設し発信力を強化しています



各地域情報誌の営業広告と求人広告の金額が24時間閲覧でき、任意のサイズや回数で見積PDFを発行できます

問い合わせは大手メーカーやFC本部など、多店舗展開している企業から、地元で長く商いをしているスクールなど、官・民・学さまざま。掲載内容はニューオープン関連、広告再開など、活気を感じています。

地域でのプロモーションが本格化した今、当社情報誌の活躍の場が広がっています。

この好機を逃さぬよう、しっかり需要をとらえたご提案をまいります。

お問い合わせの声(一部抜粋)

- サービス業** SNSでのサービスPRを行っていたが、遠方からの問い合わせが多いため居住地付近で広告が出せないかと思い、問い合わせました。
- イベント** 数年ぶりにイベントを再開することになりました。コロナ前には例年行っていましたが、数年ぶりの開催なので告知したいと考えています。
- スクール** 求人と生徒募集を希望しています。以前掲載した実績はありますが、しばらく期間が空いているため、一度ご説明が聞きたいです。
- 飲食** お店をOPENしましたが認知度が低く、フリーペーパーに広告掲載を考えています。広告料とスケジュールを教えてください。
- 広告代理店** 掲載ではなく、情報誌と一緒にクライアント様のチラシを配っていただくことはできますでしょうか。

何のために生きるのか 自分は何ができるのか、何をなさねばならないのか

心ひとつに 「the83voices」

昨年7月1日、横浜のホテルで「旧ばど」の仲間たちと「一体化」し、CMS(中広メディアソリューションズ)が誕生しました。人のご縁を今、しみじみと感じています。1周年を記念してCMSから「the83voices」というメッセージ集が送られて来ました。

CMS横浜支社の荒谷さんは——「人が命・人が宝・人が財産」という中広グループに迎えられ、昔のように「心」をもっていんだと、この1年で思えるようになりました。3年前多くの仲間が去りました。自分が残ったことへの罪悪感がありました。直接的に私には関係ないけれど、この1年でその罪悪感が薄れた気がします——と辛い経験から立ち上がってくれました。

埼玉支社の野口さんは——1年前、中広の傘下に入ると聞いた時、最初に感じたのは大きな安心でした。前会社では、地域メディア業以外の目線を感じ、どこか違う方向を向いているようで不安でした。「ハッピーメディア。で地域を元気にする」。まさに旧ばど時代のコンセプトに再会、仲間に加わったことに感謝です。「ARIFT」(CMSで発行する「地域みっちゃく生活情報誌」)の媒体名は感謝の気持ちをもち続けたかったこと、この媒体が「人と人の中にありがとうを創造するきっかけになって欲しい」という想いがありました。中広でそれができると感じています——と綴ってくれました。

仙台支社の相澤さんは——この1年間、釜さん(CMS社長)と仕事をしていて感じるのが色々あります。その中で強く感じたことは「自分のしている仕事に自信をもつこと」です。当たり前のことですが、なかなか自分では実行できそうにないことでした。苦しい時がなかったわけではありません。しかし、中広の方々から「大丈夫だ」と自信とパワーをもらいました。そして今、周りに励まされ続け、2009年入社、そして13年8カ月の時が経とうとしています。これからも共に戦う仲間として頑張っていきます——と清々しく書いてくれました。

そして、CMSトップの釜社長は——83名の声を締め括って「無事、創業第1期を終えることができました。この1年は改めて地域密着という原点にかえり情報誌事業・広告事業に集中でき、皆で前を向き歩みを再開できた実感しています。何よりも赤字体質、負け癖がついていた組織が少しずつ、体験を積み自信を取り戻しています。足元しか見ることができなかった組織が少し先の未来も考えられるようにな

りました。皆がよく考え行動できるようになってきました。組織の変化を現場にいる私自身が実感できる。そんな期でした。CMSの躍進はこれからです。ご恩を成果と社会還元でお返しできるよう尽力します——と、力強く決意を語ってくれました。

ありがとうございます。

83名すべてのメッセージを紹介はできませんが、この1年間、CMSがどんな状況から、どんな思いで頑張ってきたのか、理解いただけたと思います。改めて、感謝と敬意を表します。生い立ちも育ちもまったく違う組織でしたが、「地域を元気にする」という志は同じであり、「何のために」この仕事をするのか、「何のために」生きるのかを共有することができたからこそ、このご縁が結ばれたのだと思っています。

釜社長、CMSの皆さんの「声」は、中広グループ全員に届いています。さあ、これからです。我々の大きな大きな目標に立ち向かってまいりましょう。



CMSからのメッセージ集「the83voices」

30年ぶりの株価 日はまた昇る

新型コロナウイルス感染症が5類になって、約2カ月が経ちました。人流が活発になれば経済は回り始めます。日経平均は30年ぶりに3万円台に乗せ、さらに上昇を続けています。お買い得な日本株を外国人投資家が爆買いし、財務省の調べでは株式買越し額は10兆円に迫る勢いです。

欧米のメディアは米中の経済安全保障での摩擦、とりわけ半導体での主導権争いで、米国が日本と半導体同盟を構築する姿勢を評価して「色褪せる赤い星、中国よりも昇る日の日本を投資家は好む」と、盛んに日本を煽っています。

半導体を制するものが世界を制すと言われますが、日本にとっては何周も遅れていた次世代産業がいきなり先頭に立つタイミングが訪れたのです。強運なのか、日本の底力なのか。しかし考えてみれば、米国の身勝手。日本経済の失われた30年の象徴は、衰退した日本の半導体業界にありました。米国に翻弄される日本経

済に忸怩たる思いがありますが、今、風向きは日本にトレンドフォローです。

2022年度、日本の大手企業は過去最高益を更新。QUICKの集計でも、今期と来期の純利益も好調。最高益を更新し続ける見通しです。今年の1~3月期のGDPは実質で前期比年率1.6%増、名目では7.1%増。名目GDPは年間算で570兆円と、これまで過去最高を更新。悲願の600兆円が見えてきました。

企業の売上も利益も、質上げにより給料明細も、政府の税収も、そして株価も、名目値すべてが好循環に回っています。デフレからの脱却が視野に入りました。これだけ景気回復の好材料が揃ったのは、この30年間ありませんでした。この好条件、一過性に終わる要因が見つかりません。それでも、懐疑的に見る向きはありますが。

ここにきて企業が内部留保してきた500兆円を動かす方向も鮮明です。経済はマインドと申しますが、大手企業の経営者が攻めに転じました。この横並びも日本的です。設備投資のアクセルを踏み、先の春闘では軒並みに満額回答、昨今は大幅な賃上げを競い出しています。長い長い冬の時代でしたが、日本に再び日が昇り始めました。そう確信して良いのではないのでしょうか。

ために生きる いまだ道半ば

机と小さな本箱、ひとながれの布団。東京、京王線千歳蔵山(チゼンクラヤマ)の木造2階建てのアパート、6畳ひと間の東京暮らし。高校を卒業したばかりのニキビ面の男子が、ある朝流れてきた「サマータイム」のメロディに惹かれて、路地を覗くと、みかん箱の上に戸板を乗せ、短パンにランニング姿でベンチプレスをしている人がいました。筋肉隆々、大柄で髭モジャなその人は、私に目を止め「君が新入りかね」と一言。いや〜、ビビりました。しかし、それが哲学者・仁科明彦師との出会いでした。以後、さまざまな薫陶を賜り、「人は何のために生きるのか」と、わたしが問い続けてきたのも師の影響を受けたからに他なりません。「自分と自分の周りの幸せのために、君は何ができるのか。何をなさねばならないのか。それを考えて生きなさい」と。

亡き仁科師に報告できるレベルには届いていません。ハッピーメディア。『地域みっちゃく生活情報誌』は、いまだ道半ばです。同じ志をもつCMS、中広グループすべての仲間たち、そして、まだ出会っていない全国の仲間たちと共に、前へ前へ進んで行きたいと思っています。

10,939,392部

※情報は2023年6月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を6月23日現在の各県が公表している世帯数で割り算し、一部レイアウト発行に伴い6月に流通していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください。

北海道 道内発行 5誌 867,540部

宮城県 県内発行 5誌 578,900部

山形県 県内発行 1誌 84,000部

福島県 県内発行 2誌 85,300部

茨城県 県内発行 5誌 338,000部

栃木県 県内発行 1誌 52,000部

群馬県 県内発行 5誌 403,000部

太田フリモ vol.76 太田市 50,000部

前橋フリモ vol.113 群馬県前橋市 55,000部

高崎フリモ vol.308 群馬県高崎市 120,000部

クッキーズ vol.100 久喜市 52,000部

ARIFT vol.1724 埼玉県川越市 181,010部

ARIFT vol.1723 埼玉県川越市 160,930部

ARIFT vol.1725 埼玉県川越市 386,320部

新潟県 県内発行 3誌 178,000部

福井県 県内発行 1誌 33,428部

山梨県 県内発行 4誌 174,000部

長野県 県内発行 1誌 81,000部

岐阜県 県内発行 12誌 739,530部

GUJO vol.175 郡上市 20,000部

maika vol.202 中津川市・恵那市 44,600部

おりべ vol.230 多治見市 44,970部

Kanfsen club vol.337 岐阜県関市 75,080部

ぎららくらぶ vol.200 関市・美濃市 42,777部

GiFUTO vol.170 岐阜県岐阜市 76,400部

mintcup vol.196 本巣市・瑞穂市 44,993部

愛知県 県内発行 35誌 2,426,954部

名古屋市 第4木曜日発行 824,565部

NAGOYA vol.27 名古屋市 184,000部

山守フリモ vol.137 名古屋市中村区 68,200部

西尾フリモ vol.91 西尾市 41,300部

ひまわり vol.88 長久手市 39,700部

あつら vol.84 豊明市 26,610部

あつら vol.84 豊明市 26,610部

mydo vol.280 三島市 70,100部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

鈴鹿市・亀山市 84,800部

奈良県 県内発行 2誌 178,000部

鳥取県 県内発行 3誌 163,400部

鳥取市 64,000部

鳥取市 64,000部

鳥取市 64,000部

鳥取市 64,000部

鳥取市 64,000部

鳥取市 64,000部

鳥取市 64,000部

高知県 県内発行 1誌 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

高知市 39,330部

福岡県 県内発行 3誌 166,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

福岡市 64,500部

読者の声

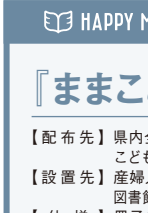
「地域みっちゃく生活情報誌」に寄せられた 読者からのお便りを紹介します。



推しグルメ総選挙が読み応え抜群でした！スイーツ系の店に足を運んでみようと思います。(Pさん・20代)



休日当番医、イベントニュースの掲載が助かります！(Fさん・30代)



あじさいの季節に二本松寺に行ってみたいのですが、「かしす」の表紙を見て今年絶対行きたいと思いました。(Tさん・40代)

掲載レスポンス

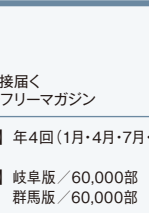
「地域みっちゃく生活情報誌」に掲載した 広告の反響をご紹介します。



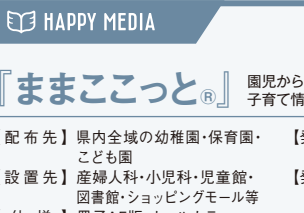
伊賀で営む人気パン店のこだわりを表紙&巻頭特集で紹介。発行後50件以上の読者ハガキで反応があり、先方も「発行から目に見えて新規のお客様が来てい



」と実感していただき、7月号から年4回の掲載が決定しました。



年間掲載のハウジングメーカー。イベントや新商品告知、読者からのお悩み相談などを掲載し、完成見学会や個別相談会の来店に寄与しています。「まるごと下越!」を持って相談にくる顧客も多く、ダイレクトに反響として届いています。



読者反響がダイレクトに伝わる!

「フリモ」編集室オススメの地域の逸品をご紹介します!

500万部の「地域みっちゃく生活情報誌」で告知をおこなうため、毎月安定した流入が見込めます。編集室のレビューは、第三者目線のコメントも参考にするとユーザーから好評!

クーポンアプリ「フリモ」

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に! 切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

ウェブへ繋ぐ!

店舗情報ページには、お店が持っているSNSやホームページへジャンプできるアイコンを表示! タップすればそのままアクセスできます。

GoogleMAP運動で

現在地からもお店を探せる! TOPページの下部メニュー「探す」で、現在地から近くのお店も探せる 便利な絞り込み機能も搭載 知らなかった近場のお店と出合えるかも!

「HAPPY MEDIA GUIDE」

情報誌見積サイト 全国で配布しているフリーマガジン「地域みっちゃく生活情報誌」への広告出稿の見積作成、問い合わせが可能です。 サイズ別料金が知りたい 見積もりが今すぐ欲しい

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

空き家の価値を見直し放置にブレーキを

地域みっちゃく生活情報誌

空き家のミライを考えよう！

6月の環境月間にあわせ、岐阜県の飛騨地域で発行する「月刊さるぼぼ」では空き家問題をクローズアップ。核家族で暮らすことが多い現代、急な転動や相続で空き家を所持するのは珍しいことではありません。「もし自分が空き家を持ったら…」とリアルに想像できるよう構成しました。巻頭特集では空き家の未来を考えるにあたり、「放置」を外した活用方法である、売却、賃貸、解体、建て替えなどの選択肢を設け、そのメリットやデメリットも紹介。行政の「空き家活動支援制度」も掲載し、いざという時すぐ行動に移せるよう、おすすめ窓口として地元で信頼して任せられる専門業者も紹介しました。

折しも6月初旬には、空き家対策特別措置法などの改正案が7日の参院本会議で可決、成立しました。コロナ5類移行後、インバウンドも復活してきた観光地、飛騨高山。美景を保つためにも市民一人ひとりが考えなければならない課題として、今後も誌面で呼びかけていきたいと思います。



紙配信とウェブ配信でよりターゲットに訴求

コミュニティ

価値のあるコンテンツをユーザーに提供

東海エリアにある金融機関から、紙配信とウェブ配信による会報誌のリニューアルをお任せいただきました。今回のリニューアルはクライアントとエンドユーザーの繋がり強化が目的のひとつでした。そこで紙配信のコンテンツは読者参加型となる仕掛けも取り入れ、ウェブ配信ではターゲットであるファミリー層に向けて、レシビ動画やお金に関する内容を漫画を使って楽しく紹介したり、休日に家族で遊びに行けるスポット紹介をコンテンツとして採用していただきました。

紙版の読者には、投稿やプレゼントの応募等でQRコードを使用してもらうウェブ版と融合できるように設計。長年、ウェブでも会報誌を展開したいと考えていたクライアントの要望を、今回のリニューアルで実現することができました。

今後はエンドユーザーにとって有益な情報を、より多く発信できるようにコンテンツを充実させていきたいと考えております。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です



高騰する電気代をガスが助ける！

地域みっちゃく生活情報誌

ガス給湯器のメリットを方言で伝える

山陰地区で家庭用ガスなどを展開している山陰酸素工業株式会社より、ガス給湯器の魅力伝える広告を「つばさ」「こはくくらぶ」6月号にご掲載いただきました。ウクライナ情勢により高騰し続けている電気代。以前は夜間の電気代がお得な電気料金プランもありましたが、今ではそのメリットも薄くなってしまいました。気になる電気代を少しでも安くするには、給湯器がカギ！実は電気代の約3割を給湯器が占めているのをご存じでしょうか。給湯器を電気からガスに代えるだけで、トータルの支出を抑えることができるのです。

広告制作にあたり、金額など数値だらけの分かりづらい内容にはしたくないという意向がありました。YouTubeチャンネルに登場している若手スタッフを広告キャラクターに抜擢し、キャッチコピーには方言を多用し親近感を演出しました。掲載から1週間ほどでモニターの応募もあり、評判は上々。これからも知恵を絞る企業や商品の魅力を読者へ伝えていきたいと思います。



文化人・監督・俳優・芸人まで！

イベント

シーンに合わせた幅広いブッキングが可能

当社ではイベントセミナー部門において講演会や研修にあわせて企画・ブッキング・告知・運営などを一貫して担当する実績が多くあります。近年ではそれに加え、映画事業の派生から役者やお笑い芸人など、ブッキングの幅がより広がってまいりました。

「イベントを盛り上げるために著名人を」というオーダーに対して、予算とスケジュール先行で選出するのではなく、会の趣旨や会場の形態、観客の属性や社風を踏まえ、選択できます。著名人を呼ぶことで「芸能人に会えた」という満足度を高める場合や、参加者とゲストと一緒に何かに取り組む巻き込み型イベントなど、主催者が会の終了後に参加者に抱いて欲しい感情へ寄り添った演出を施すブッキングを心がけています。

タレントブッキングは単に知名度やギャランティの高低で良し悪しが決まる商品ではありません。その目利きが当社のイベントセミナー部門の強みであり、多くのクライアントの信頼を得てきた理由ともいえます。



VC TOPICS

山梨県「ピグレ」アドコム株式会社

アプリユーザー獲得に繋がるスタンプラリー

2023年4月号の巻頭特集にて、「フリモ」アプリを使った「峡東ラーメンスタンプラリー」を開催。掲載店舗は18店、それぞれの店舗で使えるクーポンもつけていただき、2カ月間実施しました。

読者からは「家族みんな大好きで、行ったことのない店があったのですぐにも行きたいと思いました」「身近に、こんなにたくさんの美味しそうなラーメンがあっ

たなんて！何軒制覇できるかワクワクします！」などの声が届きました。2カ月の参加者は64名、総スタンプ数は145回、SV数は824回。また、エリア別スクリーンビュー数や「フリモ」アプリ利用者数、クーポン閲覧数などの数字が前号に比べて倍に上がり、スタンプラリーの実施により「フリモ」アプリ利用者の増加に繋がることができました。



▲2023年4月号

CHUCO CLUB

第45回定時株主総会開催

6月23日、岐阜本社で第45回定時株主総会を開催し、株主の皆様へ第45期の事業報告および計算書類の報告をいたしました。決議事項の4議案に関しましても、いずれも原案通り承認可決されました。第45期は「紙とウェブの共創」を強力に推進。新たに一体化したグループ企業と共に事業の拡大に努め、2期連続での増収増益となりました。第46期は「ABCX」をスローガンに変革を続け、フリーメディアにおいて確固たる地位を確立してまいります。株主の皆様を含め、すべてのステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも当社に対するご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(管理本部・後藤)

明るい未来を願い「にっぽん子ども会議」設立

当社は5月24日に、公益財団法人にっぽんど真ん中祭り文化財団と共に、「にっぽん子ども会議」を設立。『ハッピーメディア』で長きにわたり展開しておりました「児童虐待防止運動」を加速させ、子どもたちが主体となって未来を切り開いていけるよう、関係各所と連携していきます。

設立の周知と児童虐待防止の機運を高めるため、名古屋市の児童虐待防止推進月間にあわせて5月24日から30日の7日間、「中部電力MIRAI TOWER」(名古屋市中区)を児童虐待防止のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップ。一人でも多くの人の関心に繋がると幸いです。



▲街行く人が写真に収める様子が見られました

(クオリティマネジメント室・遠藤)

岐阜県から感謝状授与

このたび当社がグループの代表企業として参画した岐阜県の新型コロナウイルス感染症重症者等に係る宿泊療養施設の包括運営に対して、県から感謝状の贈呈をいただきました。本事業は「オール岐阜」の合言葉のもと、専門知識を要した県内の企業多数とグループを組み、2022年1月から約15カ月にわたって施設を運営。新型コロナウイルスに感染された方が安心して療養できるように、24時間体制で民間の知恵を結集してまいりました。今後も地域・自治体の「お困りごと」に知恵やノウハウを最大限活用し、サービスを提供してまいります。



(管理本部・後藤)

岐阜市にて広報セミナーを実施

当社と岐阜市の包括連携事業の一環として、広報の基本をテーマとした研修を実施しました。広報は各部署において重要な役割を担います。研修では広報の定義共有から始まり、広報媒体の選び方、原稿の構成方法や、掲載時の確認事項を伝えました。岐阜市からは「職員にとって有意義なセミナーを開催していただきました」との言葉をいただきました。今後も包括連携事業を通じてさまざまな連携をとり、シティプロモーションを軸に地域に還元していきます。



(事業開発室・佐藤)

市邨高等学校の社会人講話に参加

市邨高等学校(名古屋市)の車座講座「働く大人の話を聞いて、社会や大人について理解を深めよう」の講師を務めました。目的は、生徒が働くことの意味を深め、インターンシップへの意識を高めることです。気軽な雑談から始まり、少し難しい広告と経済の話や「地域みっちゃく生活情報誌」と地域の関わり、加えて私が仕事に就いた経緯や思いを伝えました。後日届いた生徒からの感想文に「地域の広告に興味を沸いた」「人の役に立つ仕事がおもしろい」とうれい声がありました。将来を考えるきっかけとなれたら幸いです。今後も、企業・地域・学校など関係各位と連携し、中広ができる社会貢献を実施していきます。



(人財開発室・伊藤)

部署だより NO.114

営業本部

『岡崎フリモ』編集室



▲「岡崎フリモ」編集室スタッフ

岡崎支局は愛知県で一番東に位置する部署です。VC媒体との隣接が多く、会社間での情報共有を密にとりながら日々の業務に励み、無事1周年を迎えることができました。

第45期唯一の直営創刊誌である『岡崎フリモ』の営業拠点として、2022年の4月に立ち上げスタッフ一人での開局。その後、人事異動と第46期からの新たなスタッフが2人加わり、現在は4人で『岡崎フリモ』と『西尾フリモ』の2誌を発行しています。スタッフの半数が新人ということで、思い込みや偏見なく常に新鮮な気持ちでお客様とかかわる毎日を過ごしています。また、ベテランのスタッフも2人在籍していますので、同行営業を多く実施。機会損失のないようにしています。「新人のフレッシュさ」×「ベテランの経験・知識」で行動量と質の両方を高めている力強い部署です。

コロナが5類に移行し地域経済の活性化がより重要となる今、「地元のプロ」としてより多くの有益な情報を読者に届けられるよう、これからも取り組んでまいります。

(岡崎フリモ編集室・竹内)

編集後記

6月発行分で埼玉県内の「地域みっちゃく生活情報誌」総発行部数が100万部を突破いたしました。世帯数が326万を超える大きな県のため、世帯到達率が30%弱。それでも一山超えた感覚があります。

埼玉県では9誌を展開していますが、発行元は中広とグループ会社の中広メディアソリューションズ、そしてVC2社と、さまざまです。合計4社が同じ志のもと同ブランドを発行し、日夜、埼玉県地域経済を活性化するために励んでいます。このような仲間がいることが、当ブランドのいいところであり、他にない強みであります。

今号のトップにも記載しましたが、『地域みっちゃく生活情報誌』のニーズは、着実に上がってきています。全国の同志とともに、この商機を逃さず、暑い夏を乗り越えていきたいと思います！

(広報・PR室 岡本)

